

「新たな仕組み」の登録の階層性について(案)

都道府県

- 都道府県の役割として、「関係人口」を創り出すとともに、より深い関わりを持つきっかけを作ることが考えられるのではないかと。また、市町村の取組をサポートすることが考えられるのではないかと。

(都道府県の役割例) 県内市町村の情報提供、
住民と同様又は住民に準じた公共施設の
利用を認める 等

(参考となる取組)

- ・ 長野県「楽園信州ファミリー」
「しあわせ信州アルクマファンクラブ」
- ・ 島根県「しまこトアカデミー」
「島根ファンクラブ通信」
- ・ 北九州市「すまいるクラブ」
- ・ 都道府県単位の県人会 等



「ふるさと」への想いを受け止める 新たな仕組み

市町村

- 国民の想いと結びついている地域コミュニティの関係施策を実施する主体としては、多くの場合、基礎自治体である市町村が想定されることから、市町村のみを登録の対象とすべきではないかと。

(市町村の役割例) 定期的な地域情報の提供、住民と同様又は住民に準じた公共施設の利用を認める、
登録者が参加する地域づくり活動や住民との交流事業等の企画立案・実施 等

(登録者の役割例) 条例に基づく住民投票やパブリックコメントへの参加、
地域づくり活動や住民との交流事業等への参加 等

地域コミュニティ

- 地域コミュニティが登録の事務を担うことは困難であることから、登録の対象は、市町村とすべきではないかと。

(地域コミュニティの役割例)
定期的な地域情報の提供、
地域づくり活動や住民との交流事業等に登録者が
参加する機会の提供 等

(参考となる取組)

- ・ 「ふるさと住民票」
鳥取県日野町
徳島県佐那河内村
香川県三木町 等